

# 俳優の谷原章介さんが三原市ふるさと大使に



▲天満祥典市長から委嘱状を受け取る谷原章介さん

所で委嘱状の交付式を行いました。

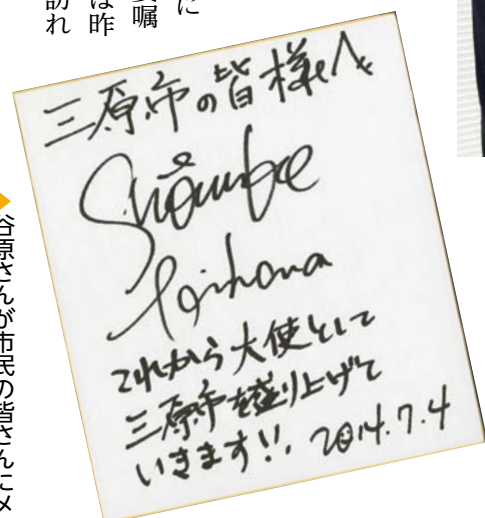
天満祥典市長から委嘱状を手渡された谷原さんは、「とても光栄です。一人でも多くの人に三原を知ってもらい、市を盛り上げていきます」と話しました。

谷原さんは横浜市出身。平成4年にモデルとしてデビューし、以降は俳優として多くの映画やドラマに出演しています。最近では情報番組の司会を務めるなど、多方面で活躍中です。谷原さ

市と商工会議所、観光協会などで組織する三原市ふるさと情報発信事業推進協議会は、俳優の谷原章介さんに三原市ふるさと大使を委嘱しました。

谷原さんの祖父がかつて本郷町に住んでいた縁で、ふるさと大使を委嘱することになりました。谷原さんは昨年3月、テレビ番組の撮影で市を訪れています。

先月4日、東京都港区の県東京事務



▶谷原さんが市民の皆さんにメッセージを贈ってくれました

んを新たに迎え、ふるさと大使は14人、1グループになりました。

協議会では、市のイメージアップや産業・観光の振興のため、ふるさと大使の皆さんに市の情報を発信してもらったり、情報発信の方法などについての助言をもらったりしています。

☎観光課  
0848・67・6015

## 本郷・久井・大和地域で地域支援員が活動開始

市は先月1日、市で初めてとなる地域支援員を配置しました。本郷地域は大貫祝子さん、久井地域は油藤博昭さん、大和地域は岩田博夫さんに委嘱しました。

委嘱式で天満祥典市長は、「持てる力を存分に発揮し、地域の課題解決と活性化に協力してほしい」と話し、3人の支援員を激励しました。

地域支援員は、過疎地域などの活性化のため総務省が設けた制度です。地域の点検活動や状況把握、行政など関係機関への情報伝達、話し合いの促進などの活動を行います。地域の実情をよく知る人材を活用し、より地域に密着した活動が期待されています。

委嘱式で3人の支援員は、「これまで

▶左から本郷地域の大貫祝子さん、久井地域の油藤博昭さん、大和地域の岩田博夫さん



支えてくれた地域への恩返しのできる活動したい」「大貫さん」「後継者問題、人材不足など、地域の課題を解決できる仕組みを考えたい」「油藤さん）、「若い人が積極的に関わられる行事を行い、活性化につなげたい」「岩田さんなどと、決意を語りました。

今後、3人の支援員は、支所を拠点に、各地域で活動するので協力してください。

☎政策企画課  
0848・67・6222

## 南小学校の校庭で芝の植え付け

6月28日、南小学校で児童や保護者、地域の町内会の皆さんが芝の植え付け作業を行いました。市内の小学校で校庭を芝生にするのは初めてです。

当日は時折小雨が降る中、造園建設業協会の皆さんや市職員を含め、約950人が作業しました。スコップで5cmほどの穴を掘り、4万株の西洋芝の苗を35cm間隔で、約1時間かけて校庭一面に植え付けていきました。

同校の校庭には自動散水装置を設置し、定期的に散水して芝の成長を促します。夏休みの終わりまで養生し、児童らは2学期から芝生の校庭で運動ができるようになります。



▲約950人が力を合わせ校庭に芝を植えました

今後、芝生の維持と管理は、学校や保護者、地域の住民が協力して行なっていく予定です。作業を通じ、学校を中心に地域での交流が活発になることも期待されています。

### 教育振興課

☎0848・67・6231

## しまのわPRへ電気自動車を借り受け

市と市観光協会は先月1日、「瀬戸内しまのわ2014」のイベントをPRするため、電気自動車2台をトヨタ車体大阪事務所から10月末まで無償で借り受けました。

道の駅「みはら神明の里」で開かれた借受式で天満祥典市長が鍵を受け取り、「しまのわ」に関連し、市内でたくさんのイベントが開催される。この電気自動車でPRしたい」と話しました。

小型電気自動車は1人乗りで、家庭用電源で6時間充電すれば、約50キロメートル走行でき、運転には普通運転免許が必要です。車体後部はしまのわのPR用に青色でラッピングされています。

市では、しまのわ2014の最後を飾るイベントとして、10月25日(土)・26



▲電気自動車でしまのわ2014を積極的にPRします

### 観光課

☎0848・67・6014

## 山陽鉄道ものがたり展を開催中

日(日)に第11回三原浮城まつりが開催されます。電気自動車を積極的に活用し、各イベントを盛り上げていきます。

山陽鉄道ものがたり展を10日(日)まで、リージョンプラザ展示ホールで開催しています。明治27年に三原駅(現：糸崎駅)から広島駅まで山陽鉄道が開通してから、今年で120年を迎えたことを記念して催しました。山陽鉄道の歴史を振り返る写真や資料、車両の模型など160点を展示しています。全国の博物館などから借りた精巧な



▲精巧な模型が走る運転会は人気の展示のひとつ

### 文化課

☎0848・64・9234

鉄道模型、東京〜広島間を結び多くの人に愛された寝台急行「安芸」号のヘッドマーク、駅弁の包み紙や時刻表など珍しい資料を見ようと、連日多くの親子連れや鉄道ファンが詰め掛けています。新幹線の運転士の気分を味わえる運転台の展示、期間中の土・日曜日、祝日に開かれる鉄道模型の運転会は、子どもたちからも人気を集めています。9日(土)14時〜16時と10日(日)10時〜12時・14時〜16時にはリージョンプラザ屋外広場で、ミニ蒸気機関車の運転会(参加費100円)も開かれます。入場料は500円、大学生300円、高校生以下は無料です。